

# 全測連設計CPDに関する運用変更について

(一社) 全国測量設計業協会連合会

## 1. 変更内容

現在、全測連設計CPDでは、CPD会員から学習履歴登録申請（CPDポイントの蓄積）を受け付ける際に、講習会に関しては、全測連が事前に承認している講習会で取得したポイントに限り承認しております。

今回の運用変更において、全測連が加盟する「建設系CPD協議会」の構成団体（2.対象となる団体を参照）が認定したCPDプログラムの内、講習会、セミナー、講演会、シンポジウム等の形態を有する学習で取得したCPDポイントについて、全測連設計CPDへ学習履歴登録申請することが出来るものとします。

●全測連が加盟する建設系CPD協議会では、構成団体間でお互いのCPDポイントを尊重する「相互協力協定」という仕組みを有しております。

※建設系CPD協議会 <https://www.cpd-ccesa.org/>

※相互協力協定書 <https://www.cpd-ccesa.org/pdf/agreement20190624.pdf>

## 設計CPD（継続学習制度）のガイドライン変更内容

### 5. 学習履歴（ポイントの登録）の申請

### 5. 1 学習履歴の申請

変更後	現行
<p>受講者は受講後主催者より受講証明書を受領し、学習履歴申請をシステムより行って下さい。</p> <p>学習履歴証明を申請出来る講習会は全測連が事前に承認している講習会、<b><u>および建設系CPD協議会の構成団体（以下構成団体等）が事前に承認している講習会（別紙1の学習分野のもの）に限られます。</u></b></p> <p><u>なお構成団体等の学習履歴を申請する場合には、受講証明書の他に、受講要領、プログラム等の受講内容、時間が分かるものを添付してください。</u></p> <p><u>またポイント数に端数がある場合、45分相当以上の場合は切り上げとし、未満の場合は切り捨てとします。</u></p>	<p>受講者は受講後主催者より受講証明書を受領し、学習履歴申請をシステムより行って下さい。</p> <p>学習履歴証明を申請出来る講習会は全測連が事前に承認をしている講習会に限られます。<b><u>建設系CPD協議会の他団体主催の講習会であっても、事前に全測連に認定申請を行っていない講習会は認められません。</u></b></p>

## 2. 対象となる団体

建設系CPD協議会を構成する19団体（五十音順・令和2年4月現在）

※[https://www.cpd-ccesa.org/cpd\\_info.php](https://www.cpd-ccesa.org/cpd_info.php)

- （公社）空気調和・衛生工学会、（一財）建設業振興基金、
- （一社）建設コンサルタンツ協会、（一社）交通工学研究会、
- （公社）地盤工学会、（公社）森林・自然環境技術教育研究センター、
- （公社）全国上下水道コンサルタント協会、
- （一社）全国測量設計業協会連合会**、（一社）全国土木施工管理技士会連合会、
- （一社）全日本建設技術協会、土質・地質技術者生涯学習協議会、
- （公社）土木学会、（一社）日本環境アセスメント協会、
- （公社）日本技術士会、（公社）日本建築士会連合会、
- （公社）日本コンクリート工学会、（公社）日本造園学会、
- （公社）日本都市計画学会、（公社）農業農村工学会

## 3. 変更日

令和2年7月20日

※変更日以降に取得したCPDポイントが対象。

# 別紙 1 4. 2. 1 学習分野

(設計CPD (継続学習制度) のガイドラインから抜粋)

教育分野		内容	分類記号
I, 共通分野	倫理、経営	倫理、コンプライアンス、入札・契約規定、経営に関する法規・制度の変更等	A
	一般科学	数学、物理、化学、地理学、地質学、統計学、情報科学、気象学、水文学、その他の関連科目	B
II, 専門技術分野	河川・砂防・海岸	河川、砂防、地滑り、ダム、海岸、港湾、空港等に関する設計	C
	道路	道路、現道拡幅、道路施設等に関する設計	D
	鉄道	鉄道計画、鉄道施設等に関する設計	E
	下水道	下水道計画等に関する設計	F
	造園	公園、緑地、広場、環境緑化、景観等に関する設計	G
	都市・地域計画	都市施設、都市(市街地)開発等に関する設計	H
	土質及び基礎	基礎構造、土構造、地下構造物等に関する設計	I
	鋼構造・コンクリート	橋梁、現橋拡幅、水門設備等に関する設計	J
	トンネル	トンネル、トンネル付帯設備等に関する設計	K
	建設環境	環境アセスメント、環境整備、景観調査等に関する設計	L
	建設電気通信	通信施設、電気施設、制御処理システム等に関する設計	M
	電力	送電線路、電力管理施設等に関する設計	N
	上水道	水道路線、水道管理施設等に関する設計	O
	ガス	ガス路線、ガス管理施設等に関する設計	P
	III, 関連技術分野	測量	設計等に関する基準点測量、応用測量、地理情報、基盤地図情報
交通		交通路線、路線制御システム等に関する設計	R
農業土木		ほ場整備、灌漑、集落排水、農道整備に関する設計	S
情報技術		地理情報システム、基盤地図情報システム画像処理、CALS/EC、コンピュータグラフィック等	T
管理技術		プロジェクトマネジメント、品質管理、安全管理、工程管理、労務管理	U
施工技術		専門技術分野にかかる施工等	V